



XELOX療法 を受けられる患者さんへ

治療薬

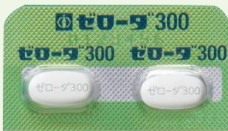
オキサリプラチン注

- がん細胞のDNAの合成を阻害して、がん細胞の増殖を抑えます。

ゼローダ錠（カペシタビン）

- 悪性腫瘍に多く存在する酵素で代謝されることにより、悪性腫瘍に効率よく働いて増殖を抑えます。

治療スケジュール

薬 \ 日	day 1	day 2	..	day 14	day 15	..	day 21
オキサリプラチン注	●						
ゼローダ錠300mg (カペシタビン) 1回 錠	1日2回朝夕食後 14日間内服 1日目の夕食後から15日目の朝食後まで 				7日間休薬		

3週間毎

◆ ゼローダ（カペシタビン）の注意点

- 食事の後、30分以内に飲みましょう。飲み忘れに気づいたときは、次に服用するまでに10時間以上空く場合は飲みましょう。それより短くなるようであれば飲まず、2回分をまとめて飲むことも止めてください。
- 飲み忘れや副作用による中止があり薬が余った場合、診察時に医師に見せましょう。薬が余っていても14日間を超えて飲んではいけません。

その他の内服薬

	用法・用量	効果	day1	day2	day3
アプレピタント カプセル125mg	抗がん剤 投与1時間前	吐き気止め			
アプレピタント カプセル80mg	1日1C 朝食後	吐き気止め			
デカドロン錠4mg	1日1錠 朝食後	吐き気止め			

点滴スケジュール



点滴部位の痛みや腫れ、点滴が落ちにくい等
あれば、すぐにナースコールしてください。
点滴の時間はおおよその時間です。
多少前後する場合があります。

ゼロータ錠（カペシタビン）

◆ 手足症候群

手や足がヒリヒリ・チクチクする、赤く腫れるなどの症状のほか、皮膚にひび割れや水ぶくれが生じたり、痛みが出たりする様な状態がみられます。また、皮膚に色素が沈着したり、爪の色が変化したり変形したりすることもあります。

ゼロータ（カペシタビン）服用中に、手・足・爪に普段と違った症状が現れたら医師にお伝えください。

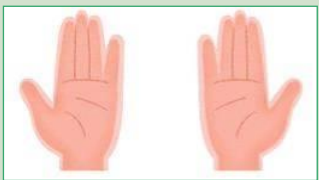
手足がひどく痛くなるなどの症状があれば医師に申し出てください。

足の症状はひどくなるまで気が付かないことがありますので、毎日観察しましょう。

◆ 日々の注意点

- ・ 処方された保湿剤やハンドクリームで手足の乾燥を防ぎましょう
- ・ 手足を安静に保ちましょう（手足を温めすぎたり、過度に足に体重がかかったり、靴で摩擦を受けると症状が悪化する可能性があります）
- ・ 痛みを伴う場合は我慢せず、早めに医師に相談してください

塗り薬

用法・用量	
ヒルドイドソフト軟膏 または ヒルドイドローション または ヘパリン類似物質 油性クリーム0.3%   	1日2回以上  1FTU=両手のひら  1FTU=片足
	1FTU 軟膏・クリーム剤 人差し指の先端から第1関節まで絞り出した量  ローション剤 手のひらに1円玉大に出した量 

※別の塗り薬が処方されることもあります。市販のハンドクリーム等でも構いません。

◆ 末梢神経障害

オキサリプラチンによる主な副作用として手や足、口のまわりがしびれる、痛みを感じるといった感覚異常の『末梢神経症状』があります。この末梢神経症状は2つのタイプが知られています。

① 投与数時間後から現れ、14日以内に回復する急性神経障害

寒冷の刺激によって誘発されます。手足、口のまわりのしびれやチクチクする痛み、舌の感覚がおかしい、あごやのどがしめつけられる、食べ物が飲み込みにくいなどの症状が現れますが、通常数日で回復します。

② 14日以上持続し、日常生活に支障をきたす持続性神経障害

治療を繰り返すと、手足のしびれや痛みによって、ボタンが外しにくい、文字が書きにくい、歩きにくい、食べ物や飲み物が飲み込みにくいなどの症状が続くことがあります。

◆ 日常生活で気をつけること

冷たいものに触れると、症状が出やすくなったり、ひどくなったりしますので、点滴直後から5日間くらいは気を付けましょう

- ✓ 冷たい飲み物や氷の使用を避けましょう
- ✓ エアコンなどの冷気に直接当たらないようにしましょう
- ✓ マスクなどを使って、冷たい外気を避けましょう
- ✓ 冷たいものに触れるときは、手袋をしましょう

起こる頻度の高い副作用

➤ 骨髄抑制（白血球、ヘモグロビン、血小板減少）

血液中の細胞成分は白血球・赤血球・血小板の3種類で、骨髄で造られ、化学療法の副作用により骨髄の機能が低下し減少します。

白血球、血小板は7～14日目で最も減少します。

白血球 (好中球：NEUT)

白血球（好中球）は細菌から体を守る働きをしていますので、白血球が低くなると体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。

マスクをしたり、手洗いやうがいをして感染を予防しましょう。

赤血球 (ヘモグロビン： Hb)

赤血球の中のヘモグロビンは酸素を体中に運ぶ役割をしており、減少すると貧血症状（動悸、めまい、息切れ、頭痛、倦怠感、立ちくらみ等）が現れます。

ヘモグロビンがかなり下がると赤血球輸血することがあります。

血小板（PLT）

血小板には血を止める働きがあります。血小板が5万より減少すると出血（血が止まりにくい、鼻血が出やすい、青あざができやすい）しやすくなります。

血小板がかなり下がると血小板輸血することがあります。

起こる頻度の高い副作用

➤ 吐き気（悪心）・嘔吐、食欲不振

消化管（口・胃・腸）の粘膜や脳の中樞を刺激することによって起こります。数時間後に始まることが多いようですが、人によっては数日間続く場合もあります。つらい時は我慢せず、早めに言いましょう。吐き気止めとして処方された薬があれば服用して様子を見てください。

吐き気止め

メトクロプラミド錠5mg
（プリンペラン）
1回1錠（6時間以上あけて）



ロラゼパム錠0.5mg
（ワイパックス）
1回1錠（6時間以上あけて）



➤ 便秘

便秘になることがあります。下剤等を服用して調節してください。

下剤

酸化マグネシウム錠330mg
（マグミット）
1回1～2錠 毎食後（自己調節）



センナエキス錠80mg
（ヨーデル）
1回1～2錠 寝る前



➤ 下痢

下痢のときは脱水症状を防ぐため、十分な水分補給を行いましょう。下痢止めや整腸剤が処方されている場合は、服用して様子を見てください。下剤を服用している場合は、中止しましょう。

下痢止め

ロペラミド錠1mg
（ロペミン）
1回1C（6時間以上あけて）



整腸剤

ミヤBM錠
ビオフェルミン
1回1～2錠(包) 毎食後（自己調節）



➤ 口内炎

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ヒリヒリする、赤くなるといった症状が出ることがあります。口の中を清潔に保つよう心がけましょう。

注意が必要な副作用

➤ アレルギー反応

薬に対する過敏反応が起きることがあります。点滴中に下記の症状があったらすぐに医療スタッフにお伝えください。

- ・ 息苦しい
- ・ 胸が痛い
- ・ 心臓がドキドキする
- ・ 顔がほてる
- ・ 汗が出る
- ・ 発疹が出る

➤ 血管炎・静脈炎

血管痛が起こることがあります。また、注射液が血管の外に漏れてしまうと注射部位が硬くなったり、腫れて痛みを生じることがあります。痛みを感じたらすぐに医療スタッフにお伝えください。

➤ 間質性肺炎

空咳、息苦しさ、息切れ、発熱等の風邪のような症状が出たときは、すぐに医師に連絡してください。

自己判断で市販の風邪薬等を服用しないでください。



その他の副作用

➤ 疲労感・倦怠感（だるさ）

点滴後に疲労感やだるさが生じることがあります。

➤ 発疹

皮膚が赤くなったり、かゆみを伴うこともあります。放置せず早めに伝えてください。

➤ 腎障害

膀胱や腎臓に影響を与える場合があります。

➤ 肝障害

肝臓に影響を与えることがあります。

➤ 脱毛

薬によって髪が抜けるものと抜けないものがあります。また、髪の抜け方にも個人差があります。治療後2～3週間後あたりから毛が抜け始め、髪以外の部分（体毛・眉毛・陰毛）でも起こります。治療が終了して6～8週間後には毛が生え始め、約半年でほぼ回復します。

➤ 味覚・嗅覚の変化

治療によって味覚と嗅覚が変化してしまい、食べ物が苦く嫌な味がしたり、塩味に鈍感になったり、匂いが鼻について食欲が低下したりすることがあります。

その他の副作用

➤ 聴覚（聴力）障害

聴こえにくくなったり、耳鳴りが起こったりすることがあります。

➤ しゃっくり（吃逆）

アプレピタントカプセル（吐き気止め）によって起こることがあります。比較的男性によくみられます。

下記の薬が処方されていれば服用して様子を見てください。

しゃっくり止め

メトクロプラミド錠5mg
（プリンペラン）



1回1錠（6時間以上あけて）

バクロフェン錠5mg
（リオレサール）



1回1錠（6時間以上あけて）

上記のような副作用が主に挙げられますが、必ずこれらの副作用が起こるわけではなく、人によって個人差があります。

副作用を抑える薬もありますので、気になることがあれば何でも伝えてください。



大阪国際がんセンター

〒541-8567

大阪府大阪市中央区大手前3-1-69

☎06-6945-1181

Osaka International Cancer Institute